



2022 年6月14 日(火)

交通安全教室で真剣に学んだ“いのち”の大切さ

先月 31 日には自動車販売協会の方が来園し、交通安全教室を開催しました。昨年は雨天のため室内での開催でしたが、今回は天候にも恵まれ、緑ヶ丘公園で実車を使つての実地訓練ができてよかったです。「運転手からは、大人の姿は見えるけど、子どもは見えないので、車から降りたらお家の方と手をつないでくださいね」という説明を真剣に聞いていました。次に、クラスごと横断歩道を渡り、「手をあげて、体を向けて右、左、右としっかり見ようね」という約束を意識していました。お迎えの保護者にも伝えて「こうやって渡るんだよ」と早速、学んだことを実践している子もいました。

例年より早い梅雨入りとなりました。普段なら雨天は、室内活動が主となりますが、今年も幼稚部、保育部共にこの時季にしかできない遊びや体験をして欲しいと願っています。園庭では、雨水が雨樋からあふれている下で修行僧のように雨だれに打たれたり、カッパ姿で園庭や池の中を走り回ったりしていました。りす組のお友だちは、カッパを着ての散歩で、雨に打たれた草花や道路の様子を楽しんでいました。

○運転席からは、皆さんの姿が見えないんですよ。

◆えーっ！知らなかったー！お家の人と手をつなぎます



○手をあげて、体を向けてー

◆みぎ、ひだり、みぎだよ



◆長靴だから池でも平気だよー

◆雨の音って気持ちいいねー

◆カエルさんいるかなー？

◆草も雨にぬれて、うれしそうだねー



◆冷たいけど、修業はがまんが大事。忍、忍！



◆こんにちはワンワン

◆カートはらくちんだよ。乗る？



◆トンネルみたいだね ◆すずしくていいねー

◆このまま、お家にしたいね。 ◆それいいねー！



